

◆ セミナー開催のお知らせ ◆

**国際連携を踏まえたトラストサービスとトラスト基盤**

講師:手塚 悟 氏

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授

2018年12月3日

技術企画部会

通信ネットワーク機器セキュリティ分科会

日時:2018年12月25日(火) 15:00-16:20

場所:CIAJ C~E会議室  
港区浜松町 2-2-12 JEI浜松町ビル3F  
TEL 03-5403-9357

演題:「国際連携を踏まえたトラストサービスとトラスト基盤」

講師:手塚 悟 氏  
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授



■ 講演概要

我が国においては、「世界に先駆けた『超スマート社会』の実現(Society 5.0)」が提唱され、またさまざまなデータのつながりから製造業等を中心とした新たな付加価値を創出していく「サプライチェーンの実現(Connected Industries)」も提唱されている。これらの「データ駆動型社会」を未来の姿とし、その共通基盤としての「サービスプラットフォーム」構築が現在進行している。その一方で、サイバーセキュリティの視点からは、より安全性の向上が図られた Society 5.0 やサプライチェーンの構築が求められている。このような背景のもと、ヒト、モノ、データ等のオブジェクトの真正性が保証され、さらに、米国・EU等の国際連携を踏まえたトラストサービスとトラスト基盤の整備が必要不可欠である。

■ 講師紹介

1984年慶應義塾大学工学部数理工学科卒。同年(株)日立製作所入社、  
2009年度より東京工科大学コンピュータサイエンス学部教授、  
2016年度より慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授、現在に至る。

2004年度情報処理学会論文賞、  
2008年度情報処理学会論文賞、IEEE-IIIHMSP2006 Best Paper Award、  
2013年度情報セキュリティ文化賞等を受賞。

個人情報保護委員会委員、総合科学技術・イノベーション会議 SIP 重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保担当サブプログラムディレクター、サイバーセキュリティ戦略本部重要インフラ専門調査会委員、IT 戦略本部電子行政タスクフォース臨時構成員、情報連携基盤技術ワーキンググループ委員、住民基本台帳システム調査委員会委員、電子署名法及び認証業務に関する法律基準等検討ワーキンググループ座長、暗号技術評価委員会(CRYPTREC)委員、暗号技術活用委員会(CRYPTREC)委員等。  
情報ネットワーク法学会理事長、日本セキュリティ・マネジメント学会常任理事、デジタル・フォレンジック研究会理事、情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会専門委員、日独シンポジウムプログラム委員等。

著書に「Q&A マイナンバーのセキュリティ対策」清文社、「マイナンバーで広がる電子署名・認証サービス」日経 BP 社、「日本を強くする企業コード もう一つのマイナンバー『法人番号』とは」日経 BP 社、「情報セキュリティの基礎」共立出版等。

<CIAJ 会員限定セミナー>

5月28日までに web <<https://area11.smp.ne.jp/area/table/846/fGSkhc/M?S=pekc2rere>>よりお申し込み下さい。定員になり次第、締め切りとなります。

また、ご提供いただきました個人情報は、CIAJ からの各種ご案内等に利用させていただく場合がございますので予めご了承下さい。